

障害のある子どもに配慮した排泄環境改善のための基礎的研究
排泄時利用する設備・用具の実態

Fundamental study on the excretion environmental improvement for children with disabilities
About technical aids and equipment used by children with disabilities when excreting

○植田 瑞昌¹, 八藤後 猛²

*Mizuyo Ueda¹, Takeshi Yatogo²

The purpose of this study is to make it clear about the way, place and use apparatus about child with disabilities's move one's bowels. A way of research did a questionnaire survey to parent with disabilities's child. The result of our research clearly shows that a child with disabilities often tells a sign of need to evacuate his bowl more than a sign of urination. They use a technical aids for excretion in a restroom. There are use frequencies a lot more than a home restroom of the technical aids in a restroom at school. It is concluded that to maintenance of the appropriate restroom environment and human aid are needed to make sure that the child with disabilities can use a restroom..

1. 研究の背景と目的

近年, 障害児を取り巻く環境は著しく変化している。とくに, 在宅で生活する重度重複障害児は, さまざまな理由により買い物やレジャー等が困難な場合が多く, その要因の一つとして外出先での排泄環境があげられている^{文献1)}。中でも, 排泄動作獲得の大切な幼児期や学童期において, 重度重複障害児は尿意・便意の表出が難しく, おむつを使用する場面が多くさまざまなニーズに合わせた住宅や公共施設における排泄環境を整えることは急務の課題である。

よって, 本研究では障害のある子どもの排泄環境整備に向けた基礎的研究として, 自宅や外出先等で排泄時使用する設備や用具類を明らかにすることを目的とする。

2. 調査方法

調査方法は, アンケート調査とし配布方法は, 特別支援学校, こども発達支援センター, 及び父母の会等から保護者へ配布し, 郵送により回収した。

調査期間 : 2016 年 6 月~8 月

配布数 : 2,378 部

回答者数 : 729 人 (うち 18 歳未満 617 人)

回収率 : 30.6%

3. 調査結果

3-1. 対象児・者の基本属性

本稿では, アンケート回答者 729 人のうち児童福祉法に基づき 18 歳未満の障害児 617 人を分析の対象とする。さらに, 障害の種別がわからない 5 名を除き, 「肢体不自由と知的障害または発達障害がある重複障害児

(以下<重複>とする)」294 人 (47.6%), 「身体障害のみある障害児 (以下<身体>とする)」59 人 (9.5%), 「知的障害もしくは発達障害またはその両方がある障害児(以下<知的・発達>とする)」259 人 (42.0%) の 3 障害に分類する。

3-2 尿意・便意の告知

排泄に関する状況を把握するため, 尿意・便意の告知を 4 段階で評価した結果を障害別に Fig 1 に示す。

3 障害ともに排尿より排便の方が「ほとんど事前に知らせる」「ほとんど事後に知らせる」割合が高くなり, 「知らせない」割合が低くなる。<重複>では「知らせない」割合が排尿・排便共に 40%を超え, 他の障害に比べ非常に高い。

	ほとんど事前に知らせる	ほとんど事後に知らせる	知らせない	わからない	
<重複>	排尿 N=289	21.1%	12.1%	57.4%	9.3%
	排便 N=289	27.0%	13.8%	49.8%	9.3%
<身体>	排尿 N=56	42.9%	17.9%	35.7%	3.6%
	排便 N=55	52.7%	10.9%	29.1%	7.3%
<知的・発達>	排尿 N=244	57.0%	5.7%	34.0%	3.3%
	排便 N=245	57.6%	9.4%	30.2%	2.9%

Fig 1 .The ratio, to tells a sign of need to evacuate his bowl

3-3. 排泄時の使用設備・用具類の実態

排尿・排泄時に使用する便器や汚物流しなどの建築設備, 子ども用補助便座などの一般的な用具類, 及び障害を考慮した姿勢保持機能付き便座など福祉用具類の使用状況について 3 障害別に示し, さらに, 「自宅」, 「通園・通学先」, 「外出先」の場所別について Table1 に示す。なお, 用具類には排泄に関連する医療的ケアに使用する用具類)を除く。また, 「外出先」とは「通園・

1 : 日大理工・院 (後)・建築 2 : 日大理工・教員・まち

通学先」以外の場所で一週間のうち最も頻度が高い場所を想定して記入を依頼した。

(1) 便器類：3 障害のいずれも「通園・通学先」では使用する種類が増える。〈知的・発達〉では「自宅」以外で小便器類使用の割合が 20%以上と高い。

(2) 姿勢保持類：手すり類は〈重複〉と〈身体〉共にどの場面でも使用され、たて手すりより横手すりの割合が高くなる。座位保持類は〈重複〉では「自宅」より「通園・通学先」でその種類が増え、さらに、排尿より排便の方がその利用の割合が高くなる。

(3) おむつ交換台類：〈重複〉と〈身体〉では、「大人用おむつ交換台」の利用が「通園・通学先」や「外出先」で増える。「外出先」ではさらに、「乳幼児用おむつ交換台」の利用が増える。〈知的・発達〉では、外出先の「乳幼児用おむつ交換台」の使用が最も高い。

4. まとめと考察

〈重複〉や〈身体〉で使用する設備・用具類は〈知的・発達〉より多く、3 障害ともに尿意より便意の方

が事前の告示の割合は高く、排便のみ便器を利用してはいる障害児がわずかだが存在する。さらに、「自宅」よりも「通園・通学先」では、使用している便器類や姿勢保持類の用具使用が多いことから、人手や設備を整えることができる環境であれば、トイレにおける排泄が可能な障害児の存在も示唆され、排泄環境整備の重要性が明らかになった。一方で、〈重複〉においては外出先でのおむつ交換台の必要性が非常に高く、「大人用おむつ交換台がなく、やむを得ず乳幼児用おむつ交換台を利用」^{文献2)}している障害児もみられ、外出先における障害児のおむつ交換に配慮した環境整備も重要である。

参考文献

- 1) 植田瑞昌：「重症心身障害児（者）の外出先での排泄環境に関する事例報告と問題点」, 第 18 回福祉のまちづくり学会全国大会梗概集 I 2A-6,2015 年
- 2) 植田瑞昌,八藤後 猛：「障害のある子どものおむつ使用状況と排泄時使用設備・用具類の実態,障害のある子どもを取り巻く排泄環境整備に関する研究その 1」第 87 回日本建築学会関東支部研究発表会,pp267-270,2017 年 2 月

Table1. On technical aids used for excretion

		〈重複〉						〈身体〉						〈知的・発達〉						
		排尿			排便			排尿			排便			排尿			排便			
		自宅	通園先・通学先	外出先	自宅	通園先・通学先	外出先	自宅	通園先・通学先	外出先	自宅	通園先・通学先	外出先	自宅	通園先・通学先	外出先	自宅	通園先・通学先	外出先	
便器類	洋式便器	洋式便器（一般）	62.4%	31.3%	36.1%	62.4%	32.4%	32.0%	75.0%	35.4%	51.1%	78.9%	42.2%	50.0%	95.9%	57.0%	75.6%	96.6%	75.5%	89.6%
		洋式便器（子ども）	1.5%	14.2%	3.7%	1.1%	13.3%	2.3%		16.7%	4.3%		15.6%	2.2%	.4%	15.6%	6.9%	.4%	22.3%	7.4%
		洋式便器（車いす対応）		3.7%	4.5%		3.1%	3.1%		12.5%	14.9%		15.6%	15.2%	.4%	.4%	2.0%	.4%		1.3%
	和式便器	.5%	.8%			.9%									.4%	2.9%	5.3%		3.6%	3.5%
	特殊便器	長型便器		5.7%			4.9%			2.1%	2.1%		2.2%	2.2%		1.6%	.8%		.5%	.4%
		床埋め込み便器														1.6%			1.8%	
		床かさ上げ便器		.4%			.4%								.4%			.4%		
	移動できる便器類	ポータブルトイレ		.4%			.4%		2.5%			2.6%								
		おまる	2.1%	.4%		2.2%	.4%								1.6%				2.1%	
	小便器	しびん・集尿器	2.1%	2.8%	.4%				10.0%	8.3%	6.4%									
小便器（大人用）		.5%	4.9%	2.6%					8.3%	6.4%				2.4%	23.4%	27.2%				
移乗・移動補助用具類	踏み台	3.6%	1.6%		4.3%	1.3%					2.6%			4.1%				4.7%		
	トイレ用車いす類		1.6%			1.3%		2.5%	4.2%		2.6%	4.4%								
姿勢保持類	手すり	手すり（横）	8.2%	8.1%	7.1%	8.6%	8.4%	7.4%	22.5%	18.8%	12.8%	23.7%	17.8%	15.2%		.4%	.4%		.9%	.4%
		手すり（縦）	4.1%	3.3%	3.7%	4.8%	3.1%	3.9%	5.0%	10.4%	6.4%	5.3%	11.1%	6.5%						
	座位保持	背もたれ		1.2%		1.1%	.4%		5.0%			7.9%			.4%				.4%	
		姿勢保持用前方支持類	.5%	1.2%		1.6%	1.3%			2.1%		2.2%								
		姿勢保持用固定ベルト類		2.0%		.5%	2.2%													
	便座	姿勢保持付き便座	2.1%	2.4%		3.2%	2.7%		4.2%											
		やわらかい便座	1.0%	.4%		1.1%	.4%					2.6%	2.2%							
子ども用補助便座	19.6%	5.7%	3.0%	18.3%	5.3%	2.0%	12.5%	6.3%		21.1%	6.7%	6.5%	7.3%		2.0%	9.4%		2.2%		
着脱衣・おむつ交換台類	ベビーベッド	3.1%	1.6%	7.8%	3.2%	2.2%	8.2%		4.2%	4.3%		4.4%	4.3%	.4%		.8%	.4%		.9%	
	幼児用おむつ交換台		5.3%	25.7%		5.8%	25.8%		4.2%	25.5%		4.4%	26.1%			7.3%			8.7%	
	大人用おむつ交換台		20.7%	56.5%		22.7%	60.9%		18.8%	34.0%		20.0%	32.6%			3.3%			3.5%	
	床に敷くマット類	23.2%	18.7%	5.6%	25.3%	20.4%	5.1%	12.5%	8.3%	8.5%	13.2%	8.9%	8.7%	2.4%	.4%		3.0%	1.4%	.4%	
	着替え台（立位用）		2.8%	4.8%		3.6%	5.1%		6.3%	4.3%		6.7%	4.3%			2.0%			1.3%	
後始末類	温水洗浄便座	2.1%			3.8%			2.5%			10.5%		2.2%	1.2%		.4%	3.4%	.9%	1.7%	
	携帯用おしり洗浄器類	1.0%		.7%	1.1%		.8%													
	汚物流し（尿便処理用）	1.0%	.4%	.4%	1.1%	.4%	.4%	2.5%		2.1%	2.6%		2.2%							
その他	5.7%	2.4%	3.3%	5.4%	1.8%	3.5%			2.1%	2.6%		2.2%	.4%			.9%	.5%			
回答実数 人		194	246	269	186	225	256	40	48	47	38	45	46	246	244	246	234	220	230	